

令和8年度(2026年度)

進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第84号

令和8年(2026年)10月23日

☆札幌北斗高等学校(東区北15東2)☆

学級にパンフレットとリーフレットを配付しました。

★教育相談★

10月29日(木)から11月10日(火)までの7日間、教育相談の日です。

第4回進路希望調査に御記入いただいた内容にもとづく、大切な進路相談の時間になります。

有意義なものとなりますように、心配なことがあれば、不明な点があれば、お早めに(教育相談が始まる前に)、担任の先生、進路係にお声がけください。

★学力テストC★

11月11日(水)、学力テストを実施します。最後の学力テストです。
できる限りの準備をしてほしいと願います。

上述の教育相談では、公立高校受検予定の生徒に、学力テストA・Bの5教科合計点を足して2で割って算出した平均点を、公立高校入試の当日点と見立てて、ランクと合わせての進路相談を進めていきます。

学力テストCにおける、具体的な目標点の話題にもなると思われます。

★進路写真&後期中間テスト範囲★

11月6日(金)5校時に撮影します。

後期中間テスト(11月20日(金)実施)のちょうど2週間前ということで、テスト範囲表や計画表を配付する学活中に、学級ごとに移動して撮影、という動きになります。

★第4回進路希望調査、私立高校が第一志望の場合…★

御協力ありがとうございました。今回お知らせいただきました志望校について、学級担任と係で共有し、適切な助言ができるように準備を進めてまいります。

第一志望、第二(・三)志望にかかわらず、私立高校合格の可能性等も含めて、学級担任が具体的なアドバイスをお伝えしますが、上述の教育相談の席です。その教育相談を経て第5回(最終)進路希望調査を御提出いただき、12月の期末懇談で最終確認をさせていただき、懇談翌日に「出願手続依頼書」の御提出をいただく、という流れとなります。

さて、今回の第4回進路希望調査で、私立高校1校のみの御記入ではなく、私立高校の志望順を「1」、公立高校の志望順を「2」とし、それぞれ具体的に校名を御記入いただいた御家庭も多くいらっしゃいます。

今のうちに説明いたします。

①私立高校が第一志望で1月に単願or専願or自己推薦or(学校)推薦受験

年内に出願手続が必要→1月受験→1月中旬に合格発表→期日(遅い高校で2月上旬)までに入学手続

○1校のみの出願、がほとんどです。そのための「合格の目安」です。
○募集要項を御確認ください。「合格したら必ず入学すること」「他校への出願は妨げない」「他校への出願は不可」などの記載を御確認ください。

例えば、「専願」は公立高校にも出願できませんが、合格をして入学手続を済ませた後、他の出願校を受験することはマナー違反です。公立高校には「受検欠席届」を提出することになります。

※注意していただきたいのは【札幌第一高校】です。同校の合格発表は1月28日(木)、入学金・校納金納入期限が2月2日(火)ですが、入学手続日は3月21日(日)です。そして、某公立高校合格通知が同校のよりよい特待条件に繋がる仕組みです。札幌第一高校に、第一志望として1月の自己推薦入試で合格しても、入学手続日前に公立入試が行われるので、公立高校の受検ができます(「受検欠席届」は提出不要です)。公立高校に合格した場合、その公立高校に「入学辞退届」を提出することになります。

※【札幌日大高校】の1月受験「自己推薦Ⅲ」も特殊な入試であることは、これまでお知らせしてきたとおりです。主に、公立高校が第一志望の御家庭が選択する受験方法だと思いますが、私立高校が第一志望の場合でも、この自己推薦Ⅲの受験はあり得ます。例えば札幌日大高校が第二志望で自己推薦Ⅲ受験、札幌光星高校が第三志望でA日程受験、立命館慶祥高校が第二志望でB日程受験、という方法です。複雑です…。御不明な点は、係へお問合せください。

②私立高校が第一志望で2月にAorB日程(A&B日程)で一般受験

冬休み明けまでに願書提出→2月受験→遅い高校で3月初めまでに合格発表→期日(公立高校合格発表後)までに入学手続

○1校のみの出願、がほとんどです。あえて1月受験ではなく、2月受験を選択する御家庭も例年いらっしゃいます。受験勉強の必要がなくなる日をできる限り遅くしたいというお考えだと思われます。

○①とは異なり、2月受験で合格した後の入学手続締切は、公立高校合格発表日(3月16日(火))の後に設定されていますので、公立高校にも出願、受検をしてかまいません。公立高校合格の際は、「入学辞退届」を提出することになります。

※注意していただきたいのは【北海高校】です。同校の1月入試には、単願・専願がなく、自己推薦のみです。同校のみの受験をお考えの場合でも、合格の目安から鑑みて、自己推薦受験を選択せず、2月の一般入試を受験せざるを得ない御家庭が、昨年度まではいらっしゃいました。今年度の入試からは、同校のみの受験=全員1月受験可、となりましたが、2月受験を選択しても問題ないです。

私立高校に出願するすべての御家庭について、事務手続の準備上、単願or専願or自己推薦or(学校)推薦or一般について御記入いただく「第5回進路希望調査」の内容で、いずれの出願なのかを把握させていただきます。

また、私立高校が第一志望で、公立高校の校名も記入されましたら、公立高校に「受検欠席届」または「入学辞退届」を提出する流れとなることを御理解されている、と判断させていただきます。

公立高校自己推薦入試は、合格が内定しましたら、すぐに「入学確約書」を提出し、必ずその公立高校に入学することになります。

私立高校が第一志望で、公立高校自己推薦入試に出願することはあり得ません。公立高校一般入試には出願可、です。御注意ください。